

「火災のないまち」を願って 秋の火災予防運動が始まります

平成20年度 全国統一防火標語
「火のしまつ 君がしなくて 誰がする」



これからの季節、空気が乾燥し、風の強い日が多くなることから火災の起こりやすい気象状態になります。毎年、この時期から火災が増え、多くの人命や貴重な財産が失われています。

火災を1件でも少なくするよう、この火災予防運動を通して、市民の皆さん一人ひとりが火災予防について考え、「火災のないまち」にしていきたいと思います。

また、平成20年6月1日からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。まだ設置していない場合は、早急に設置をお願いします。

☎ 石巻地区消防本部予防課 ☎ 95・7167

住み防災 3つの習慣・4つの対策

◇3つの習慣

●寝たばこは、絶対やめる。



●ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。



●ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



◇4つの対策

●逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。

●寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災製品を使用する。

●火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。



●お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

平成20年上半期(1月～6月)における火災統計

※火災件数は46件発生しており、これは前年の同期に比べ10件の増加となっています。原因別出火状況では、第1位が放火(放火の疑い含む)、第2位がたばこで常に上位を占めています。

火災種別毎の出火件数(件)		原因別出火状況(件)	
建物火災	25	1位 放火または放火の疑い	12
林野火災	3	2位 たばこ	6
車両火災	3	3位 たき火	3
その他の火災	15		

今年は、昨年と比べ火災が増加傾向にあります。火の用心に心掛けましょう。



▲ 防火指導員による防火指導の様子

11月9日は

119番の日
です



1. 火災・救急の別

「火災です」または、「救急です」と、はっきりと話してください。

2. 場所

住所は省略せず、正確に話してください。

場所が分からない場合は、大きな建物など目標となるものを話してください。

3. 火災・救急の状況

火災や救急の状況を、正確に話してください。

なお、状況を伺っている時には、消防隊や救急隊が既に出動していますので、落ち着いて話すようお願いいたします。

4. 通報者の氏名・電話番号

通報されている方のお名前と、電話番号を話してください。消防から再度、問い合わせをすることがあります。

正しい119番通報を行うことは、一刻を争う消火活動や救急活動に、とても大切なこととなります。

119番の受付員が、主に次の項目を順にお尋ねしますので、落ち着いて話してください。

ワンストップデバイスで通報

消防本部では、少しでも早い出動ができるよう、どこから通報しているか、地図上に表示される装置を導入しています。この装置のシステム上、一般加入電話で通報した方が、携帯電話よりもより正確な位置が表示されます。

自宅や会社のように、一般加入電話と携帯電話の両方がある場合は、一般加入電話で通報するようにしましょう。



▲ 消防指令センター（石巻地区消防本部内）



しょうぼうQ&A

Q1：なぜ119番なの？



A1：火災を知らせる専用電話がつくられたのは大正6（1917）年で、当時は交換手が手動で接続していました。その後、大正15（1926）年に東京の京橋電話局が最初ですが、このとき火災報知専用ダイヤルとして、ダイヤル時間の短い「112番」が指定されました。しかし、火災通報は一刻を争うことから慌てて別の番号を回してしまうミスが多く、誤接続を防ぐために「9」を末尾に使うこととして、昭和2（1927）年10月1日から「119番」を火災報知専用ダイヤルとしました。

Q2：消防車は時速何kmで走っているの？

A2：道路交通法で普通の道路では時速80km、高速道路では時速100kmと決められています。災害現場にサイレンを鳴らして赤色回転灯をつけて走っても、交通渋滞や交差点などで停止したり、徐行するため時速80kmのスピードで走っているわけではありません。

Q3：消防車が出動するときのサイレンの違いは？

A3：石巻地区広域消防では、火災現場に出動するときは「ウー・カンカンカン」のサイレンと警鐘を同時に鳴らしています。火災以外の救助出動や警戒出動のときは「ウーウー」のサイレンのみを鳴らしています。

災害時の問い合わせは、テレホンサービスへ

119番は、緊急用の回線です。問い合わせのときは、消防テレホンサービス

☎0180-992-911 を利用しましょう。

消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」が寄贈され 消防訓練などに役立てていきます

今年8月、財団法人日本宝くじ協会より、消火・通報訓練指導車『けすゾウくん』が消防本部に寄贈されました。

『けすゾウくん』は、消火器による初期消火訓練、119番通報訓練が実施できるほか、地震防災知識の習得に必要な資器材が積載されています。

地域の防災訓練、イベント、事業所の消防訓練などに



『けすゾウくん』が出動します!!皆さんの地震・防火・防災知識の向上と、技術の習得に役立てていきます。

◀ 消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」